

# 神戸昇天教会月報

☎652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

http://nssk-kobeshoten.org/ FAX (078) 361-4539

口座振替 01110-2-10517

## 2018年1月

## 謹賀新年

### 新年を喜びの内に生きよう

～喜ばしいおとずれを大切に～

主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。  
(フィリピ書4:4)

司祭 ミカエル 小南 晃

新春のお慶びを申し上げます。大晦日と元旦とは、たった1日の違いでしかありませんが、新年を迎える朝はやはり特別な感じがします。

ラジオ体操の歌に「新しい朝が来た、希望の朝が・・・」という歌詞があります。新しい朝の喜びは、希望がもたらすことを端的に歌っているところに、さわやかな魅力があるのではと思います。

新年を迎えるにあたって、皆さん何らかの形で今年こそはという抱負や希望を抱いておられるのではないのでしょうか。そしてこの新年が喜ばしく、清々しく感じられるのも、そうした抱負や希望を抱いているからこそでしょう。

#### 喜ばしいおとずれ

また新しい年の挨拶は「慶び」また「喜び」として交わされます。年月が無事すぎることをめでたく、喜ばしものと思うからでしょう。

しかしこの「喜び」ということはキリスト者の信仰生活の基本の一つであります。

まず福音そのものが喜ばしいおとずれ、ニュースということであり、また上に引用したフィリピ書4:4に限らず、聖書、ことに使徒聖パウロの手紙の各所に私たちが主イエス・キリストにあって常に喜びを抱くようにと勧める言葉が数々あります。



新年礼拝の後、会館ホールにて恒例の「ワインで乾杯」

「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい(ロマ書12:12)」、「終わりに、兄弟たち、喜びなさい(Ⅱコリント書13:11)」、「いつも喜んでいなさい(Ⅰテサロニケ書5:16)」等々。何よりも使徒聖パウロ自身が、試練や迫害の中にありながらも自らの溢れるような喜びを語っています。

#### 喜びはどこから

まずその喜びはどこから来るのでしょうか。

私たちは、時として過去の失敗や挫折によって自信を失い、諦めや絶望にとらわれてしまうことがあります。しかしそうした時に「もはやそのような過去の失敗にとらわれる必要は無い。それはすべて過ぎ去った。すべてが新しくなった。あなたの前には全く新しい人生が用意されている」というメッセージを心から受け入れることが出来るならば、今一度、喜びとすがすがしき、そして希望を持って歩み出せることになるでしょう。

#### 喜びの内に生きる年に

神の御子・救い主イエス・キリストは、まさにその喜びと希望を私たちに与えてくださるために来られた方です。それが主イエス・キリストの十字架による罪の贖い、そして復活による永遠の命の約束という、喜ばしいおとずれ・福音のメッセージです。

そして神は、主イエス・キリストを通して、私たちが日々、「新しい人」として生きようと招いてくださっているのです。

私たちが新年に当たって抱いている喜び、希望を大切にしながら、またそれを人々に証ししながら、この1年を歩んで行くことが出来ますように共に祈りたいと思います。

#### 定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式  
" 9時15分 教会学校  
" 10時30分 聖餐式・説教  
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会  
土 午前10時30分 教会掃除  
(ご奉仕をお願いします)